

2024年度 横浜市国際学生会館報告書

ANNUAL REPORT 2024 YOKOHAMA INTERNATIONAL STUDENT HOUSE



公益財団法人 横浜市国際交流協会



目 次

第1章	2024年度 学生会館の主な取組	1
第2章	事務事業体系図	5
第3章	会館の概要	6
第4章	総務関係	
1	宿泊施設の提供	7
2	危機管理	9
第5章	自主事業関係	
1	国際理解事業	10
2	地域貢献事業	15
3	留学生支援事業	16
4	行政施策への協力	19
5	広報事業	20
第6章	イベントカレンダー	21
第7章	予算決算書	25
第8章	留学生統計	26

第 1 章 2024 年度会館の主な取組

1994 年(平成 6 年)5 月に設置された横浜市国際学生会館は、今年開館から 30 周年を迎えました。30 年間に会館を利用した学生は 93 か国・地域の 2,315 名にものぼります。開設当初は、来日する留学生の住まいを始めとする生活を支援する立場でしたが、時を経た今日では、各種交流事業を行い、市民と留学生が共に国際意識を高め、グローバルに活躍する人材を育むという本来の目的が少しずつ叶い、学生会館が果たすべき使命がさらに増した感があります。

今年の 9 月 22 日の潮田交流プラザの秋まつりの日に渋谷鶴見区長を迎えて潮田交流プラザ開設 30 周年記念の式典を行いました。30 周年記念として潮田交流プラザのエントランスに鶴見区の木である「百日紅(サルスベリ)」を植林しました。潮田交流プラザの 3 施設(横浜市国際学生会館、潮田地区センターと潮田ケアプラザ)とも地域の皆様のご理解ご協力のおかげで長年の運用ができたことを心から感謝しています。

4 月 1 日の新しい留学生の入居と共に、学生会館の年度行事が始まり、新入居者の歓迎会を行いました。コロナ禍後、久しぶりに事務職員をはじめ学生たちも感染を気にせずに歓迎会に参加して、会館での新しい生活に向けて留学生同士や事務職員との最初の交流を深めました。

事業においても対面とオンラインの両方で実施するハイブリッド形式で行っていましたが、今年度からは出前授業や文化講座は対面で開催しました。

文化講座では、6 月に『カンボジアってどんな国?』と 12 月に『歴史と文化、美食が豊かな国トルコ』を開催しました。また、8 月に自国を紹介したい留学生と留学生と交流したい地域の方々の要望を反映して、「地域交流会」を開催しました。

潮田交流プラザ 3 館合同秋まつりでは、これまで自粛して実施してきたため、自国の料理を作り試食させたいという学生たちの気持ちから例年より 12 ヶ国・地域の料理、飲物、お菓子などを来場者に提供しました。様々な国の食文化を通した国際交流の舞台となり、大いに盛り上がりました。

また、「Stock Base(期限間近の災害備蓄品を提供したい企業と、必要とする支援団体をマッチングするプラットフォーム)」から適宜に水、パンやお米を受け取り、年間を通して入居者に配布しました。

その他に、設立 30 年を経て、傷んだ施設内外の様々な場所の補修を順次行いました。2022 年度から 3 年計画で始めた全館 LED 化は今年の秋に終えることができました。

上記以外にも地域の様々なイベントが通常通り開催されるようになり、各イベントに留学生たちが参加しました。



潮田交流プラザ秋まつり



潮田地区盆踊り

Ⅰ 総務関係

(1) 入退館業務

2024 年度の入居者募集では、『单身室』の希望者が昨年より多く、倍率が上がりました。そのため、今年度は、『单身室』の 2 次募集は無く、早目の募集として 3 月に『家族室』のみの 2 次募集を実施しました。しかし、『家族室』のみ希望者が無く、6 月にも 3 次募集を実施しましたが、3 部屋が空き室となりました。一方、9 月に 4 次募集として実施した『单身室』の希望者は、補欠者が出るほど希望者が多くありましたが、『家族室』の希望者は 1 件でした。コロナが落ち着いて以降、『家族室』の希望者が減っています。

横浜市立大学からの交換留学生は、4 月の 8 名から 9 月に 14 名と増加しています。9 月の受入は、秋まつりの準備に忙しいのですが、受入をこの時期にすることで、秋まつりに参加し、既に住んでいる学生達との交流のきっかけとなって良い効果を生んでいます。

(2) 建物設備の維持管理

今年度は、学生が生活する单身室・家族室（全 105 室）のキッチン照明とデスク照明を全て LED に交換しました。これにより電力使用量が抑えられ、蛍光灯の交換作業も減りました。また、各階の共用廊下のダウンライトも LED に変更し、同様の効果が得られています。

そのほか、9 階共用廊下の壁紙と床のタイルカーペットを貼り替え、汚れが目立っていた居室 2 室の壁紙も新しくしました。また、学生たちがリラックスして交流できるように、3 階ロビー共用スペースのソファやテーブルの配置を変え、ゲームや漫画本なども置きました。このスペースは、留学生と市民との交流の場としてもご利用いただけます。

消火栓ホースや連結送水管ホースなど、使用期限を迎えた消防設備の交換も適時に行い、見えない部分にも配慮した安全な環境づくりに努めています。

なお、2025 年度には建物外壁の大規模修繕を予定しており、準備として複数回の打合せを重ねました。

(3) 危機管理対策

潮田交流プラザの 3 施設合同による防災訓練を、4 月と 12 月に実施しました。4 月は新入居の留学生を対象に火災時の避難・消火訓練と煙体験を、12 月は地震を想定した避難・消火訓練を行いました。

日本に来て初めて防災訓練を体験した留学生も多く、「とても勉強になった」「日本の防災体制は素晴らしい」といった声が寄せられました。

また、昨年度に引き続き、災害時の情報発信手段として LINE 公式アカウント「YISH emergency 2024」を開設し、多くの学生が登録しました。

安否確認訓練も E メールと LINE の 2 通りで、年 2 回実施しています。

2 自主事業関係

(1) 国際理解事業

出前授業については今年度も訪問した全ての学校で留学生達を温かく迎えてもらい、様々な内容の授業をすることができました。打ち解けた雰囲気での交流ができたので、学校の児童・生徒たちにとっても留学生たちにとっても充実した授業展開ができました。特に英語での出前授業を希望する学校については、日本語の話せない留学生でも参加できるため、とても貴重で楽しい経験だったとの感想がありました。

鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催される「イングリッシュカンバセーションラウンジ」に年間を通じ2名の留学生が派遣講師として高校生と交流に努めました。3月には英語による横浜サイエンスフロンティア高校ポスター発表会に19名の学生がオブザーバーとして参加し、高校生のスキル・モチベーションの向上に協力しました。

オンライン会話サロンは中国語・韓国語・英語で実施しました。対応した留学生たちもみな楽しい時間を過ごせたとの感想で、とても充実した交流ができました。

留学生と地域の一般市民との交流を深めるため「留学生との交流会」を企画し、実施しました。フリートークでいろいろな人たちと様々な内容の話をすることができる機会となり、留学生と参加者の双方が満足できる充実したイベントとなりました。日本語と英語のそれぞれで開催したため、日本語の話せない留学生にとっても地域の一般市民と交流できる機会を提供できました。

母国文化を紹介する「文化講座」では、前期にカンボジア、後期にトルコの文化理解を深めてもらう講座を実施しました。それぞれの国の文化の紹介だけではなく、食べ物の試食や文字の紹介などの体験的なワークショップもあり、来場者にも満足してもらえるイベントとなりました。また、潮田地区センター、寺尾地区センターとの共催講座と保土ヶ谷国際交流ラウンジとの協力講座では、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、ウズベキスタン、韓国、スリランカからの留学生とその家族を講師として派遣し、それぞれの国の魅力、食文化、言語などについて紹介し、参加者と交流を図りました。その他に、TIF（戸塚インターナショナルフォーラム）と鎌倉 YMCA での英会話のゲストスピーカーとして留学生を派遣して、英語力の強化と交流に努めました。

「ホームビジット」では、10名の留学生が日本人宅を訪問し、登録しているホームビジットファミリーと交流しました。総勢 50名の市民と留学生が関わり、国際交流としての大きな一端を担っています。

2024年度の民族衣装貸し出し件数は、19件でした。

(2) 地域貢献事業

潮田交流プラザ秋まつりで例年通り「インターナショナル・カフェ&国際屋台村」を計画して、様々な国のお茶、お菓子や食べ物の試食及び販売を行いました。また、自国の様々な文化を紹介したい留学生と留学生と交流したい地域の方々の声を反映して、地域交流会を開催し、食文化を通しての交流会を行いました。

潮田神社例大祭の本町通りパレードでは、約40名の留学生やその家族が参加し祭りを盛り上げました。10月の「つるみワールドフェスティバル 三ツ池で旅する～世界～」に留学生が事務職員と共に初めて参加し、来場者と交流を行いました。

例年行ってきた地域行事（潮田西部地区連合盆踊り、潮田西部地区大運動会、潮田地区防

災訓練、潮田地区支え合いパーティー、本町四丁目自治会もちつき大会、USHIODA フェスタ)も通常通り開催され、留学生たちも積極的に参加し地域住民と交流しました。

(3) 留学生支援事業

学生会館で活動するボランティアの皆さんと留学生をマッチングして、生活サポートや日本語サポート、就職サポート等を継続的にサポートしています。2022 年度から始まった「ボランティア主体事業」では、ボランティアが中心となって、日本や日本人をより広く知ってもらう取り組みを行っており、2024 年度は、三溪園に訪問したり、カルタ大会の開催や抹茶体験をしました。

ボランティアの育成として「情報交換会」や研修会を開催し、2024 年度は地域の日本語教育の専門家に来ていただき、次年度以降の学生会館の日本語サポートのブラッシュアップへつなげることができました。

毎月レジデントアシスタント(RA)と留学生会(YRA)代表のミーティングを開き、入居者と職員との情報交換を行って、双方の視点からの改善点を検討する意見交換の場としました。

RA が主催して日本の行事を紹介したり小旅行を企画したりできる環境が整備されており、毎月2回程度のRA主催イベントを実施することができました。

また、留学生が個人的に自国の行事を紹介するイベントを企画し、RA や YRA の協力で実施できるよう支援しました。

学生会館での生活に早くなじめるようにするため歓迎会を開催して、職員や RA とだけではなく居住者間の親睦も早期から深まるよう図りました。また送別会を開催して、それぞれの思い出やこれからの希望などを語り合える機会を提供しました。

その他にも、企業で余った備蓄食やノベルティを必要とする団体へ有効活用する仕組み、物品の寄贈先マッチングプラットフォームを運営する企業から物品をもらい受け、1 年を通じて入居者に配布しました。

2024 年度は新たに、「神奈川すまいサポートセンター」に入居者を案内し、学生会館の退館後の住まい探しのサポートも行いました。

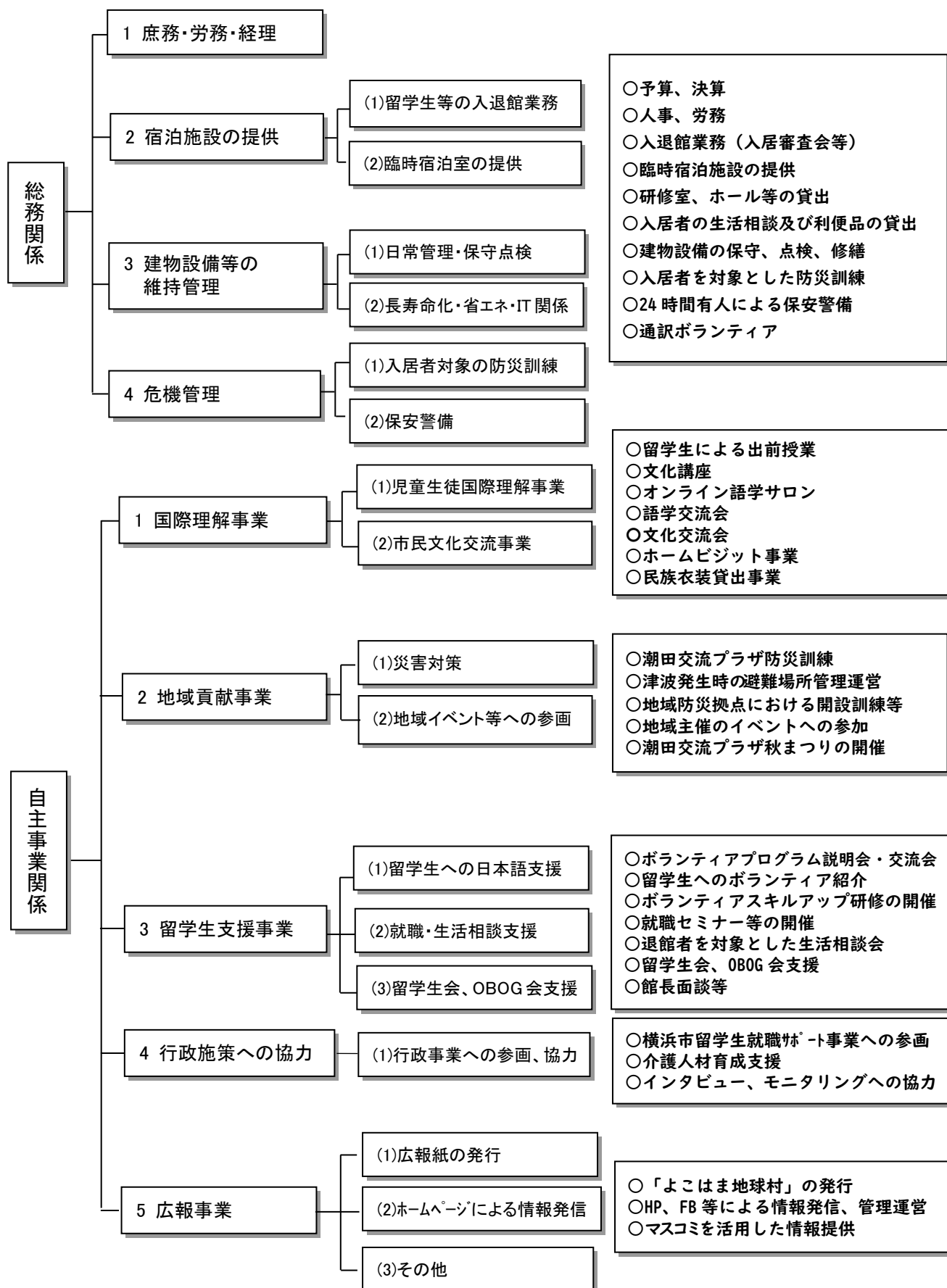
(4) 行政施策への参画・協力

横浜市主催「アジアスマートシティ会議」では、企業と共にブース展開を行う連携を初めて行い、相互理解と横浜市への就労意欲を高めました。また、アフリカ開発会議(TICAD9)および大阪・関西万博での内閣府国際交流プログラムに関連付けてエチオピアを中心に市民へ周知活動を留学生と行いました。

(5) 広報事業

季刊紙『よこはま地球村』、ホームページ、行政の広報紙、地域情報紙を活用して文化講座や日本語と英語それぞれでの「留学生との交流会」の実施、民族衣装の貸出、地域イベントへの参加など会館の事業に関する情報を発信しました。また、会館の 3 階ロビーにテレビを置いて、学生たちが参加した様々なイベントの写真や動画を流し、来館者に学生たちの活動や生活の様子を紹介しました。

第2章 事務事業体系図



第 3 章 会館の概要

◇**設立目的** 横浜市内の大学等に通う留学生等に対して宿泊施設を提供すると共に、さまざまな交流事業を通して市民の国際理解の増進に寄与することを目的としています。

◇**名 称** 横浜市国際学生会館

◇**所在地等** 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通 4 丁目 171 番地の 23
Tel 045-507-0121 Fax 045-507-2441 <https://yish-yoke.com/>

◇**設 置 者** 横浜市

◇**開 設 日** 1994(平成 6)年 5 月 1 日

◇**運営主体** 公益財団法人横浜市国際交流協会が第 4 期指定管理者として管理運営を行っています。

◇**施設概要** 建物概要:鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 2 階地上 13 階建

総称名「潮田交流プラザ」

1 階 潮田地域ケアプラザ、2 階 潮田地区センターとの複合施設

学生会館部分施設概要:3 階～13 階／延床面積 6,969.22 m²

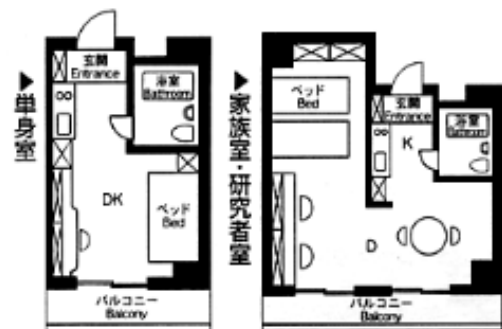
3・4 階 事務室、ロビー、ホール、研修室、ラウンジ、音楽室、談話室、学習室

5～13 階 宿泊室、洗濯室、図書室、倉庫

◇宿泊施設

横浜市内の大学・大学院・専修学校等に通う留学生や、市内研究機関等で研究するために来日する海外の研究者に宿泊施設を提供しています。また、OBOG や入居者の親族等が宿泊できる臨時宿泊室もあります。

宿泊室種類	室 数	定 員
単身室 (18 m ²)	95	95
家族室 (38 m ²)	10	20
研究者室 (38 m ²)	5	10
臨時宿泊室(18 m ²)	5	10
合 計	115 室	135 名



居室レイアウト(例)

◇研修室・ホール

国際交流や異文化理解を目的とする会合や催しに利用できます。

・研修室 2 室(定員 38 名、18 名)/3 階ホール(定員 80 名)

◇学習室・ラウンジ

4 階に書籍を閲覧できる学習室とラウンジがあります。

◇生活利便性の提供

全館にインターネット環境が整備されています。入居者は自転車、掃除機、スポーツ用具などを借りられるほか、3 階ロビーで新聞の閲覧や、4 階音楽室で楽器の練習ができます。

第4章 総務関係

Ⅰ 宿泊施設の提供

(1) 留学生の入退館業務

2024年4月の入居者は、31ヶ国・地域の106名(留学生95名、レジデントアシスタント(RA)7名、研究者4名)でした。横浜市大の交換留学生の優先枠は16室で、留学生募集数50室(単身室:留学生45室、RA4室、家族室:5室)、倍率は1.14倍(留学生応募総数57名)でした。

2024年度入居状況 4月1日現在

1 校種別

学校別	留学生・RA			研究者	合計
	単身室	家族室	小計		
1 大学院	32 (2)	7	39 (2)		39 (2)
2 大学	30 (1)		30 (1)		30 (1)
3 専門学校	33		33		33
4 研究機関			0	4	4
計	95 (3)	7	102 (3)	4	106 (3)

※()の数値は、RAの人数

2 出身地別 (同居人を除く)

(計31か国/地域)

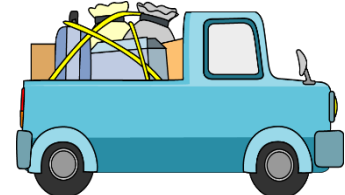
出身別	留学生・RA			研究者室	合計
	単身室	家族室	小計		
1 中国	16		16	1	17
2 ベトナム	12		12		12
3 韓国	9		9		9
4 ミャンマー	8		8		8
5 ネパール	6	1	7		7
6 イタリア	4		4	1	5
7 バングラデシュ	4		4		4
8 アメリカ	3		3		3
9 エチオピア	1	2	3		3
10 オーストラリア	3		3		3
11 インド	1	1	2		2
12 インドネシア	1		1	1	2
13 カンボジア	2		2		2
14 ザンビア		2	2		2
15 スリランカ	2		2		2
16 タイ	2		2		2
17 台湾	2		2		2
18 ブラジル	1		1	1	2
19 イギリス	1		1		1
20 ウガンダ	1		1		1
21 ウズベキスタン		1	1		1
22 トルコ	1		1		1
23 ベナン	1		1		1
24 パナマ	1		1		1
25 フィリピン	1		1		1
26 フィンランド	1		1		1
27 ベラルーシ	1		1		1
28 南アフリカ	1		1		1
29 南スーダン	1		1		1
30 メキシコ	1		1		1
31 日本	7 (7)		7 (7)		7 (7)
計	95 (7)	7	102 (7)	4	106 (7)

※()の数値は、RAの人数

家族室の子供を含む入居者の総数は、4月時点で122名でした。

内訳は、大学院生39名、学部生30名、専門学校生33名、研究者4名、同居家族16名で、専門学校生が増えています。

学校別では多い順に、横浜市立大学24名(23%)、横浜国立大学23名(22%)、横浜YMCA学院専門学校・岩谷学園よこはまITビジネス専門学校各7名(7%)でした。



3 学校別

3 学校別		留学生・RA									研究者	合計		
		単身室			家族室			小計						
		院	学部	専門	院	学部	専門	院	学部	専門				
1	国立	横浜国立大学	15	2			6			21	2			23
2		東京藝術大学大学院	3 (1)						3 (1)	0				3 (1)
3	公立	横浜市立大学	7 (5)	17					7 (5)	17				24 (5)
4	私立	関東学院大学	5						5	0				5 0
5		東京都市大学	4				1		5	0				5
6		フェリス学院大学		4					0	4				4
7		慶応義塾大学	2	1					2	1				3
8		神奈川大学	1						1	0				1
9		横浜薬科大学	1						1	0				1
10	専門学校	岩谷学園よこはまITビジネス専門学校			7				0	0	7			7
11		横浜YMCA学院専門学校			7				0	0	7			7
12		アーツカレッジヨコハマ			6				0	0	6			6
13		横浜デザイン学院			5				0	0	5			5
14		大原簿記情報専門学校			2				0	0	2			2
15		あずま工科専門学校			1				0	0	1			1
16		神奈川県産業技術短期大学			1				0	0	1			1
17		グレッグ外語専門学校			1				0	0	1			1
18		東京総合写真専門学校			1				0	0	1			1
19		横浜システム工学院専門学校			1				0	0	1			1
20		横浜ファッションデザイン専門学校			1				0	0	1			1
21	その他の機関	アメリカ・カナダ大学協会日本研究センター							0	0	0	2		2
22		理化学研究所							0	0	0	2		2
		計	38 (6)	24	0	33	7	0	0	45 (6)	24	0	33	106 (6)

※ () の数値は、RAの人数

《満足度調査》

退館者及び延長者に対し無記名での満足度調査を行い、集計をしました。その結果は全てにおいて高評価でした。

- ・住み心地： 100%
- ・スタッフ対応： 99.3%
- ・安心・安全： 100%
- ・施設設備： 93.1%

(2) 臨時宿泊室の提供

会館には、入居者の親族や友人、あるいはOB・OGが来たときに利用できる臨時宿泊室が5部屋用意されています。2024年度の稼働率は59.6%(1,089泊)で、前年度比3.9%増でした。



2 危機管理

(1) 消防避難訓練

4月20日(土)に1回目の潮田交流プラザ合同防災訓練を開催し、全館で74名が参加しました。館内消防設備の使い方を学び、避難経路の確認も行いました。消防署の方に設置していただいた煙ハウスで、火災時等の煙を体験し、水消火器を使った消火訓練も行いました。

12月7日(土)に開催した2回目の合同防災訓練には59名が参加し、大地震発生を想定した避難訓練を実施しました。



消火訓練



煙体験



避難はしごの使い方

(2) 安否確認訓練

全入居者と職員にeメールとLINEの2種類の送信方法で安否確認訓練を行いました。多くの学生がすばやく返信を送ってきて、意識の高さが感じられます。

- ・第1回(9月3日)返信率: 84%
- ・第2回(2月6日)返信率: 84%

(3) 緊急時の通訳ボランティア

留学生にとって、日本での生活で最も不安なことの 하나가、病気やけがです。2024年度は、事務職員が英語や日本語で8件の医療関係の相談に乗り、近隣の医療機関の紹介をしました。相談内容は、日頃の体調不良から入院を要する重篤な症状まで様々で、家族室に住む学生の家族の出産についての相談もありました。

夜間や休館日に留学生が体調を崩して、レジデントアシスタント、日本語を話せる学生や同国出身の留学生がサポートを行うケースも数件ありました。



第5章 自主事業関係

I 国際理解事業

(1) 児童生徒国際理解事業

① 留学生による出前授業

留学生が市内の小・中・高校の授業に講師となり、留学のきっかけ、日本での興味関心、研究テーマなどについて語りました。また、出身国の文化（挨拶の言葉、遊び、民族衣装等の紹介）や社会状況なども紹介しました。

「出前授業」を通して日本との違いや共通点を肌で感じ、留学生と各国について関心を持ってもらうと共に、質疑応答や交流を通じて異文化理解、相互理解を深めました。

《出講実績》

- ・実施期間：7月8日～3月14日
- ・派遣講師：留学生 延べ38名
- ・実施校数：15校 53クラス（小学7校、中学校8校）



台湾の健康体操を紹介して一緒に行いました。
（横浜市立矢向小学校）



授業終了後もたくさん質問がありました
（横浜市立本宿小学校）

② グローバル人材の育成

鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催される「イングリッシュカンバセーションラウンジ」に年間を通じ2名の留学生を派遣し英語力の強化と交流に努めました。

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校での「生徒課題研究発表会（YSF-FIRST 2025）」に19名の留学生が参加して、高校生の英語による発表に対して、質問やコメントを通じて交流を深めました。



「生徒課題研究発表会（YSF-FIRST 2025）」
（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校）

(2)市民文化交流事業

ア 国際理解講座、交流会



オンラインを利用して留学生が日本人とマンツーマンで自国の言葉で会話する「オンライン会話サロン」を実施しました。留学生にとっては自国の言葉で話せる気軽さがあり、日本人にとっては自分のペースで興味のあることを何でも質問できる機会でした。

6月と12月には文化講座を実施しました。留学生が自国の地理的条件・伝統・文化等について来場者に紹介しました。自国の茶菓・料理を提供したり、自国の文字で来場者それぞれの名前を書いてあげたりと自国への理解を深める工夫があり、来場者にとっても印象深い講座となりました。留学生と一般市民の交流のため「留学生との交流会」を新たに立ち上げました。日本語ができない留学生のために日本語での交流会だけでなく英語での交流会も開催し、留学生が普段は接することがない様々な人たちと交流して日本について理解を深めることができました。

昨年度からこの時期の文化講座は、留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）として採択されています。

また、潮田地区センターとの共催講座「ベトナムの留学生に学ぶ～文化と歴史～」、「留学生に学ぶフィリピンのクリスマス料理と文化」と寺尾地区センターとの共催講座「留学生に学ぶ～ミャンマーの伝統的な文化～」、「留学生に学ぶ～ウズベキスタンの料理と文化～」、「語学講座～韓国語と韓国の今～」も実施しました。その他に、保土ヶ谷国際交流ラウンジの「食の国際交流イベント」での講師としてスリランカの留学生を派遣しました。TIF（戸塚インターナショナルフォーラム）と鎌倉 YMCA での英会話のゲストスピーカーとして留学生を派遣して、英語力の強化と交流に努めました。

- ・ オンライン会話サロン：3ヶ国語 5 回（参加者：市民等 5 名、学生 5 名）
- ・ 文化講座：2 回（参加者：市民等 37 名、学生 23 名）
- ・ 留学生との交流会（日本語）：1 回（参加者：市民等 6 名、学生 6 名）
- ・ 留学生との交流会（英語）：1 回（参加者：市民等 15 名、学生 14 名）

実施日	講座名	
4月30日 ～12月19日	オンライン会話サロン <ul style="list-style-type: none"> ・韓国語1回 ・中国語3回 ・英語1回 	
6月29日	留学生による文化講座 <p>テーマ：「～カンボジアってどんな国？～」</p> <p>講師：カンボジアから横浜国立大学の留学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアの文化/自然/人々の生活等の紹介 ・カンボジア本国では途絶えている伝統舞踊の実演 ・カンボジアの茶菓の提供 	

実施日	講座名
12月14日	<p>留学生による文化講座 テーマ:「歴史と文化、美食が豊かな国トルコ」 講師:トルコから関東学院大学の留学生 ・トルコという国、歴史・文化、文字の紹介 ・トルコの茶菓の提供</p> 
1月18日	<p>留学生との交流会(日本語) ・フリートークによる交流 ・日本人と会話したい留学生にとっての場づくり ・外国語が話せない人にとっての外国人と話す機会提供</p> 
1月25日	<p>留学生との交流会(英語) ・フリートークによる交流 ・17～18分ごとの席替えで多くの相手と交流 ・できるだけ平易な英語での会話</p> 

イ ホームビジット

ホームビジット後も日本人家庭と交流を続けている留学生もあり、草の根の国際交流のきっかけづくりとなっています。ホームビジットをした留学生たちの満足度はいずれも高いため、今後も多くの留学生に当プログラムを利用してもらいたいです。

2024年度は、夏期(7～9月)と春期(1～3月)のみホームビジットプログラムが実施しました。夏期の参加件数は7件で、春期は2件でした。

「日本滞在期間の早いうちに日本人ファミリーと知り合いになれていたらもっとよかったのに」という感想が多くあるため、2025年度は希望する留学生がいれば1年を通してマッチングをする試みを始めます。



ウ 民族衣装貸し出し

民族衣装貸し出し(19件)

- ・広報活動をロコミ等も含めて地道に続けた結果、2023 年度6件だったところ、2024 年度は 19 件まで増加しました。
- ・生活協同組合ユーコープやシェアハウスのオークハウス、三重県桑名市の国際交流イベント、たびっぽ、バックバックフェスタ、川崎フロンターレ等などのみなさんの利用がありました。今後も動画やホームページを整えています。
- ・神奈川県立三ツ池公園における多文化フェスタでは、来場した多くの市民の方々にその場で選んで着てもらうことができ、大きな国際交流となりました。



2 地域貢献事業

(1) 地域イベント等への参画/参加

潮田交流プラザ 3 館合同秋まつりで横浜市国際学生会館は「インターナショナル・カフェ&国際屋台村」を計画して、留学生と地域住民が交流できる場を設けました。秋まつりでは、潮田地区の5連合自治会にも協働していただき、飲食ブースの出店をしていただいています。

コロナ前まで「インターナショナル・カフェ」ではお菓子とお茶で交流をし、「国際屋台村」では2~3ヶ国の料理を販売していましたが、2023 年度から「インターナショナル・カフェ」でも料理を作り食べてもらいたいという学生たちの声が多かったので、お茶とお菓子だけではなく、料理も提供することにしました。12 ヶ国・地域の留学生が自国の料理、飲物、お菓子などを提供しました。その他に多くの留学生や学生会館のボランティアが手伝いをしてくれました。

また、自国を紹介したい留学生と留学生と交流したい地域の方々の声を反映して、8 月 3 日に地域交流会を開催しました。ウズベキスタン・ネパール・メキシコの留学生が自国の代表的な料理を作り、地域の方々や他国からの留学生に食文化・食生活を紹介しました。地元の婦人会の方々も日本の料理を持参してくれたので、全員で留学生が作った料理と日本の料理を食べながらの交流となり、大いに盛り上がりました。

今年度の学生会館の「インターナショナル・カフェ&国際屋台村」と「地域交流会」の事業企画は、2024 年度留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）として採択され、いただいた助成金を事業経費に使用しました。

6月の潮田神社例大祭の本町通りパレードに約 40 名の留学生やその家族が参加しました。地域の方々と一緒に本町通四丁目自治会の神輿をかつぎ、日本の伝統行事を体験し祭りを盛り上げました。

10月の「つるみワールドフェスティバル ミツ池で旅する〜世界〜」に29名が初めて参加し、ステージで J-POP や民族舞踊の演奏、ブースで3カ国のお茶を提供と共に、いくつかの国の民族衣装と各国の子供の遊びを体験できるスペースを設けて、地域住民と交流を行いました。

例年行ってきた地域行事（潮田西部地区連合盆踊り、潮田西部地区大運動会、潮田地区防災訓練、潮田地区支え合いパーティー、USHIODA フェスター、本町四丁目自治会もちつき大会）も通常開催となり、留学生が地域と交流できる機会となりました。



潮田神社例大祭



盆踊り



運動会



地域交流会



秋まつり

3 留学生支援事業

(1) 留学生への日本語支援

マンツーマンの日本語レッスンを希望する留学生に、ボランティアを紹介しています。対面で行うことを基本としていますが、オンラインと両方を併用しているペアもあります。

2023年度からボランティア登録をオンラインフォーマットに切り替えており、ホームページでもボランティア募集案内を掲載したところ、新規のボランティア登録者が増えました。

3年前より行っている、ボランティア自身の企画・運営・実施によるグループ活動も、より主体性をもって継続しています。

- ・ボランティア登録者:73名(3月末時点)
- ・日本語マッチング件数:7件
- ・講座・交流会参加者:50名(市民、留学生あわせて)



実施日	内 容
4月～3月	留学生とボランティアを随時マッチング
5月25日(土)	ボランティア情報交換会
6月30日(日)	ボランティア企画による新江の島水族館ツアー
11月2日(土)	ボランティア企画 YISH 応援隊①「おにぎりともろ汁を作ろう!」
11月24日(日)	ボランティア企画 YISH 応援隊②「三溪園紅葉ツアー」
2月2日(日)	YISH ボランティア研修「これからの日本語サポーター」
2月8日(土)	ボランティア企画 YISH 応援隊③「節分と抹茶体験」
3月1日(土)	ボランティア企画 YISH 応援隊④「ひなまつり」
3月29日(土)	ボランティア企画 YISH 応援隊⑤お花見@三ツ池公園(雨天中止)

YISH Volunteers

for Japanese learning, job hunting & your lives

YISHボランティアさんをご紹介します!

You can have 1-1 support from YISH volunteers for your Japanese learning, job hunting, and your daily lives.

If you want to have it, please tell YISH office.

We can introduce a volunteer to you.

日本語の勉強をや就職活動、生活サポートのためのボランティアサポーターさんを紹介することができます。YISH officeに言ってください。

- Japanese conversation 日常会話
- Native check of your thesis 論文のネイティブチェック
- Native check of your entry sheet for your job hunting 就職活動用の書類の日本語チェック
- Support of your lives 生活サポート etc.など



YISH, OKUMA



(2) 就職・生活相談支援

留学生のための就職サポートとしては、年間を通じて国際学生会館の就職支援ボランティアがマンツーマンで「留学生のための就職個別相談」を行っています。外部でのハローワーク登録や合同面接会等への同行サポート等も行っています。

生活支援では、主に家族滞在の母子のサポートとして、地域での親子サロンの紹介・同行サポート等を実施しています。今年度は、新たに住まいのサポートとして、かながわ外国人すまいサポートセンター（すません）へ同行して紹介したことで、希望する場所に退館後の住居を見つけることができました。



・講座・イベント参加:延べ 63 名

・就職個別相談マッチング数:7 件

※学生会館内で行ったもののみ。(外部で実施しているイベント等への同行支援も別途あり。)

実施日	内 容
4 月～3 月	留学生のためのボランティアによる就職個別相談(対面/オンライン)
4 月 23 日(火)～(1 年を通じて)	入居者への支援物資の配給全 9 回
6 月 20 日(木)	外国人留学生向け合同企業就職説明会
6 月 28 日(金)	東京外国人雇用サービスセンター合同面接会
7 月 9 日(火)	かなファンまつり 合同就職説明会
11 月 9 日(土)	OB・OG による日本での生活体験談を聞く会 &OB・OG 会
12 月 3 日(火)	東京外国人雇用サービスセンター合同面接会
9～3 月	すまいサポート(主に神奈川すまいサポートセンターと連携)

(3) 留学生会支援

レジデントアシスタント(RA)と留学生会(YRA)代表は学生会館の行事等に際して入居している留学生たちの取りまとめ役・世話役として活躍し、また、独自に様々なイベントを企画・実施しました。さらに学生会館との共催で歓迎会と送別会を開催しました。

※ 留学生会(YRA)は、入居者が会員になっている親睦組織。

※ レジデントアシスタント(RA)は、日本国籍または日本永住権を持つ外国籍の学生で、職員と協力して学生会館の運営にあたる役割を担う。

- ・RA&YRA 代表ミーティング: 12 回、参加者: 123 名
- ・YRA と学生会館との共催事業: 3 回、参加者: 延べ 126 名



歓迎会

実施日	内容
4 月 13 日(土)	歓迎会
9 月 22 日(土)	秋の歓迎会
2 月 2 日(日)	送別会



送別会

- ・留学生主体事業: 22 回、参加者: 延べ 395 名

実施日	内 容
4 月 13 日(土)	歓迎会
4 月 26 日(金)	映画を見る会
5 月 5 日(日)	たこ焼きパーティー
5 月 25 日(土)	野球観戦
5 月 26 日(日)	鎌倉観光
6 月 22 日(日)	餃子パーティー
6 月 25 日(土)	サッカー観戦会
6 月 28 日(金)	映画を見る会
7 月 2 日(火)	そうめんパーティー
7 月 20 日(土)	焼肉&花火パーティー
8 月 25 日(日)	卓球&寿司&花火パーティー
9 月 17 日(火)	お月見
9 月 22 日(日)	秋祭りお疲れ様会&歓迎会
11 月 10 日(日)	山梨観光(河口湖等)
12 月 7 日(土)	忘年会
12 月 27 日(金)	映画を見る会
12 月 31 日(日)	年越しカウントダウン
1 月 5 日(日)	新年会
1 月 25 日(土)	お好み焼きパーティー
2 月 2 日(日)	送別会&節分パーティー
2 月 22 日(土)	湯円パーティー
3 月 14 日(金)	ラマダン講座



鎌倉観光



餃子パーティー



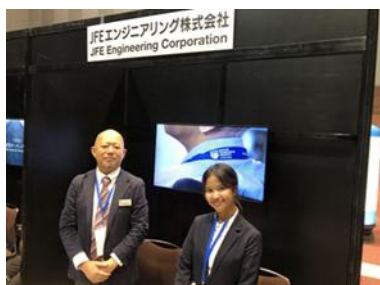
送別会&節分パーティー

4 行政施策への協力

横浜市をはじめ、多様な団体や部署との連携活動を実施しました。

小・中・高校生を対象としたウェルビーイング講座、平和学習、SDGsに関する講義等を行い、新たな行政ニーズに柔軟に対応するとともに、留学生の知見を活かした内容を構成し、実施しました。

また、横浜市主催「アジアスマートシティ会議」では、企業と共にブース展開を行う連携を初めて行い、相互理解と横浜市への就労意欲を高めました。横浜市で 2025 年 8 月に開催するアフリカ開発会議 (TICAD9) および、大阪・関西万博での内閣府国際交流プログラムに関し、アフリカ・エチオピアを中心に市民へ周知活動を留学生と行いました。



アジアスマートシティ会議



多文化共生フェスタ「アフリカタイム」



横浜市「ユースみらいカイギ」

5 広報事業

(1) 独自媒体を使った広報

① 『よこはま地球村』の発行

季刊紙『よこはま地球村』を発行しました。

- ・発行日： 120号(夏号 6月1日)、
121号(秋号 9月1日)、
122号(冬号 12月1日)、
123号(春号 3月1日)

・体 裁:A3 ニつ折カラー印刷

・発行部数:各号 2,000 部



よこはま地球村 123号

② ホームページ・SNS・YouTube による情報発信(日本語・英語)

横浜市国際学生会館主催・共催のイベント情報や留学生の日常生活の様子を学生会館ホームページや横浜市国際交流協会 Facebook で随時発信しました。

その他に、横浜市国際学生会館独自の SNS (Facebook、Instagram、X) を始めました。ビジュアルを中心とした情報を伝達するほか、横浜市国際学生会館への利用促進展開を随時発信しました。動画サイト YouTube ではアフリカ・エチオピアを市民向けに紹介した際の様子を掲載しました。

③ イベントの写真や動画を通して情報発信

横浜市国際学生会館の 3 階ロビーにテレビを置いて、学生が参加した様々なイベントの写真や動画を流し、来館者に学生の活動や生活の様子を紹介しました。

(2) 外部媒体を使った広報及び情報発信

「鶴見区版」の広報よこはまやタウンニュース、鶴見区民活動センター発行の「あぶりお」、全国紙、地方紙、専門情報紙、ミニコミ紙、テレビ、ケーブルテレビなど様々な媒体を使ってイベントへの参加者募集や新規入居者の募集を行いました。

ケーブルテレビやタウンニュースに横浜市国際学生会館主催イベントの取材をお願いして、テレビでの報道や記事の掲載をしてもらいました。

第6章 イベントカレンダー

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2024年

開催日		事業名
4月	1日(月)～6日(土)	入居期間
	1日(月)～	ボランティア登録及びボランティアとのマッチング
	1日(月)～6月30日(日)	前期個人語学サロン
	1日(月) ～2025年3月15日(土)	民族衣装貸出
	4日(木)	市大交換留学生入居(入居説明&オリエンテーション)
	6日(土)	新入居者オリエンテーション
	9日(火)	RA&YRA代表ミーティング(月1回、第1火曜日)
	13日(土)	歓迎会(Welcome Party)
	15日(月)	2次募集者&補欠繰り上げ者の入居開始
	18日(木)	三施設会議(月1回、第3木曜日)
	19日(金)	鎌倉YMCAゲストスピーカー参加2回
	20日(土)	潮田交流プラザ合同消防訓練
	23日(火)	支援物資の配給①(Stock Base)缶詰
	24日(水)	支援物資の配給②(Stock Base)水
	25日(木) ～2025年2月12日(水)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge
	26日(金)	[YRA自主事業]映画会
	28日(日)	鯉のぼり飾り
5月	5日(日)	[YRA自主事業]たこ焼きパーティ
	25日(土)	ボランティア情報交換会
		[YRA自主事業]野球観戦
	26日(日)	[YRA自主事業]鎌倉観光
	26日(日) ～2024年12月8日(日)	TIF(戸塚インターナショナルフォーラム)ゲストスピーカー参加8回
	30日(木)	支援物資の配給③(Stock Base)保存食
6月	1日(土)	ニュースレター よこはま地球村120号 発行 「2023年度事業報告書」 発行
	2日(日)	[YRA自主事業]開港記念花火鑑賞
	9日(日)	潮田神社祭礼
	16日(日)～8月31日(土) ※随時	第3次入居者募集
	20日(木)	潮田交流プラザ第1回秋まつり実行委員会
	22日(土)	[YRA自主事業]餃子パーティー
	25日(火)	[YRA自主事業]サッカー観戦
	26日(水)	支援物資の配給④(Stock Base)水
	26日(水)	YISH Facebook開始
	28日(金)	[YRA自主事業]映画を見る会
	29日(土)	文化講座「カンボジアってどんな国？」
	27日(木)～7月8日(月)	七夕短冊飾り

2024年

開催日		事業名
7月	1日(月)~9月30日(月)	ホームビジット(夏期)
	2日(火) ~2025年3月	留学生の出前授業
	5日(金)~9月20日(金)	【共催】寺尾地区センター語学講座「韓国語と韓国の今」(6回連続)
	7日(日)	[YRA自主事業]流しそうめん
	17日(水)	支援物資の配給⑤ (Stock Base)水
	19日(金)	9月退館者説明会
	20日(土)	【共催】潮田地区センター文化講座 「ベトナムの留学生に学ぶ~文化と歴史~」 [YRA自主事業]焼肉パーティー&花火
	25日(木)	YISH instagram, X 開始
	27日(土)	潮田西部地区合同盆踊り
8月	3日(土)	地域交流会
	20日(火)	【共催】寺尾地区センター文化講座 「留学生に学ぶミャンマーの伝統的な文化」
	22日(木)	潮田交流プラザ第2回秋まつり実行委員会
	25日(日)	潮田西部地区支え愛パーティー [YRA自主事業]卓球大会、寿司パーティー&花火
	26日(月)、29日(木)	消防設備点検
	27日(火)~9月10日(火)	第4次入居者募集
	31日(土)	市大退館者退館期限
9月	1日(日)	ニュースレター よこはま地球村121号 発行
	3日(火)	第1回安否確認メール送受信訓練
	8日(日)	ユースみらいカイギ講義 汐入小防災拠点開設訓練
	17日(火)	[YRA自主事業]お月見
	18日(水)	市大交換留学生入居説明会
	20日(金)	支援物資の配給⑥ (Stock Base)缶パン
	21日(土)	潮田交流プラザ秋まつり準備
	22日(日)	潮田交流プラザ秋まつり [YRA自主事業]お祭りお疲れ様会&ミニ送別会
	30日(月)~2025年3月	ウェルビーイング講座
	30日(月)	9月卒業生退館期限
10月	1日(火)~2025年2月	オンライン語学サロン
	13日(日)	潮田西部地区運動会 多文化フェスタ@三ツ池公園に参加
	16日(水)	第4次採用者入居開始
	23日(水)~24日(木)	アジアスマートシティ会議 企業ブース支援

2024年

開催日		事業名
11月	2日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化①】 おにぎりとおみそ汁を作ろう!
	9日(土)	OBOG就職体験談会&OBOG会
	10日(日)	連合防災訓練 [YRA自主事業] 山梨観光
	16日(土)	鶴見ラウンジ等による多文化共生フェスタへの協力
	18日(土)	多文化共生フェスタ「アフリカタイム」展示・講演(ステージ)
	24日(日)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化②】三溪園紅葉ツアー
	28日(木)	潮田交流プラザ第3回秋まつり実行委員会
	30日(土)	支援物資の配給⑦(Stock Base)水
12月	1日(日)	ニュースレター よこはま地球村122号 発行 2025年度入居者募集案内の配布
	7日(土)	3施設合同避難訓練 [YRA自主事業] 忘年会
	14日(土)	文化講座「歴史と文化、美食が豊かな国 トルコ」 【共催】潮田地区センター料理教室 「留学生に学ぶ フィリピンのクリスマス料理と文化」 クリスマスランタンフェスタ2024への協力
	15日(日)	本町通4丁目餅つき大会
	18日(水)	第1回退館者説明会
	27日(金)	[YRA自主事業]映画を見る会
	31日(火)	[YRA自主事業] Count Down

2025年

1月	4日(土)~29日(水)	2025年度入居者募集期間
	5日(日)	[YRA自主事業] 新年会
	15日(水)	第2回退館者説明会
	18日(土)	留学生と一般市民との日本語での交流会
	25日(土)	留学生と一般市民との英語での交流会
	30日(木)	新入居者(RA)面接
2月	1日(土)	ホームビジット(春期)
	2日(日)	ボランティア研修会&情報交換会 送別会 (Farewell Party)
	3日(月)	入居審査会
	5日(水)	大使の視点写真展での留学生参加・アフリカ民族衣装展示
	6日(木)	第2回安否確認メール送受信訓練
	8日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化③】カルタ体験 【共催】寺尾地区センター料理教室 留学生に学ぶ「ウズベキスタンの料理と文化」
	10日(月)	
	16日(日)	第3回退館者説明会
	22日(土)	[YRA自主事業] 湯円パーティー
	27日(木)	第1回入居契約説明会
	28日(金)	第2回入居契約説明会

2025年

開 催 日		事 業 名
3月	1日(土)	ニュースレター よこはま地球村123号 発行 ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化④】抹茶体験とひな祭り ほどがや国際交流ラウンジ「食の国際交流イベント」ゲストスピーカー派遣
	4日(火)	第4回退館者説明会
	5日(水)	IDEC企業交流会参加
	8日(土)	第3回USIODAフェスタ
	10日(月)	第3回入居契約説明会
	14(金)	[YRA自主事業]ラマダン講座
	15日(土)	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 「英語による研究発表会(YSF-FIRST)」参加 市大交換留学生退館最終日
	19日(水)	横浜サイエンスフロンティア高校「YSF-SDGs」授業 支援物資の配給⑧ (Stock Base)水
	28日(金)	退館最終日
	30日(日)	支援物資の配給⑨ (Stock Base)水

第7章 予算決算書

2024年度

(単位 千円)

		内 訳	予算額	執行額	備 考
収入項目	指定管理料	人件費	37,113	37,113	光熱水費及び人件費の上昇により発生した費用分
		事業費	2,725	2,725	
		管理運営費	62,243	62,243	
		受託収入	0	920	
		小 計	102,081	103,001	
	その他の収入	事業収入	800	246	
		寄付金収入	20	26	
		設備機器利用料収入	3,600	5,205	
		雑収入等	440	447	
受取利息		2	19		
小 計	4,862	5,943			
収入合計			106,943	108,944	

支出項目	人件費	館長、副館長、職員(4人)、非常勤職員(3人) 計9人	37,113	37,226	
	事業費	留学生・市民交流事業費	2,725	2,206	
	管理運営費		67,105	70,501	
		運営費(事務費)	5,860	6,230	
		公租公課費	3,200	3,557	
		委託費	32,587	30,105	
		設備管理	10,287	9,598	
		設備点検	7,000	5,995	
		警備	5,800	5,735	
		清掃	9,500	8,778	
		修繕費	6,359	10,675	
		施設管理者保険料	130	138	
		光熱水費	18,969	19,796	
		電気	10,969	9,390	
		ガス	2,000	1,861	
		上下水道	6,000	8,545	
		経営安定積み立資産取得及び一般会計繰入	—	237	
	支出合計		106,943	110,170	
	当期収支差額		0	-1,226	

第 8 章 留学生統計

1994 年 5 月の会館創立以来 30 年間に、多くの国・地域の留学生が入居しました。その数は 2024 年度末で 93 か国・地域の 2,315 名に上ります。学生たちは現在、日本国内で、世界各地で、学問、芸術、政治、経済、行政、司法等あらゆる分野で活躍しています。

学生会館 OBOG の出身国・地域別状況

2025 年 3 月 31 日現

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
1 中国	990	24 フランス	12	47 オーストラリア	4	70 オマーン	1
2 韓国	306	25 エジプト	11	48 キルギス	4	71 オランダ	1
3 日本	102	26 カンボジア	10	49 ケニア	4	72 カザフスタン	1
4 台湾	92	27 パキスタン	10	50 シリア	4	73 ガボン	1
5 ベトナム	86	28 エチオピア	9	51 スウェーデン	4	74 ギリシャ	1
6 アメリカ	69	29 スペイン	9	52 チェコ共和国	4	75 コロンビア	1
7 ネパール	46	30 メキシコ	9	53 トルコ	4	76 コンゴ民主共和国	1
8 イタリア	45	31 カメルーン	8	54 ハンガリー	4	77 シエラレオネ	1
9 インドネシア	38	32 フィンランド	8	55 ヨルダン	4	78 ジンバブエ	1
10 マレーシア	32	33 ブータン	7	56 南アフリカ	3	79 ソマリア	1
11 バングラデシュ	30	34 ロシア	7	57 南スーダン	3	80 チュニジア	1
12 モンゴル	28	35 イラン	6	58 クロアチア	2	81 チリ	1
13 スリランカ	27	36 セネガル	6	59 ノルウェイ	2	82 トーゴ共和国	1
14 タイ	26	37 ブルガリア	6	60 ポーランド	2	83 トルクメニスタン	1
15 インド	23	38 香港	6	61 マダガスカル	2	84 パナマ	1
16 ブラジル	21	39 ラオス	6	62 ユーゴスラビア	2	85 バヌアツ	1
17 ミャンマー	18	40 ルーマニア	6	63 ルワンダ	2	86 パラグアイ	1
18 オーストリア	17	41 ウズベキスタン	5	64 アイルランド	1	87 ベナン	1
19 カナダ	17	42 ガーナ	5	65 アフガニスタン	1	88 ベルギー	1
20 ドイツ	16	43 ザンビア	5	66 アルゼンチン	1	89 ボスニアヘルツェゴビナ	1
21 ナイジェリア	13	44 タンザニア	5	67 イエメン	1	90 ボツナワ	1
22 イギリス	12	45 マラウイ	5	68 イスラエル	1	91 モルドバ	1
23 フィリピン	12	46 ウガンダ	4	69 ウクライナ共和国	1	92 ラトビア	1
						93 リベリア	1
						合計	2315

全国状況

2024 年 5 月 1 日現在

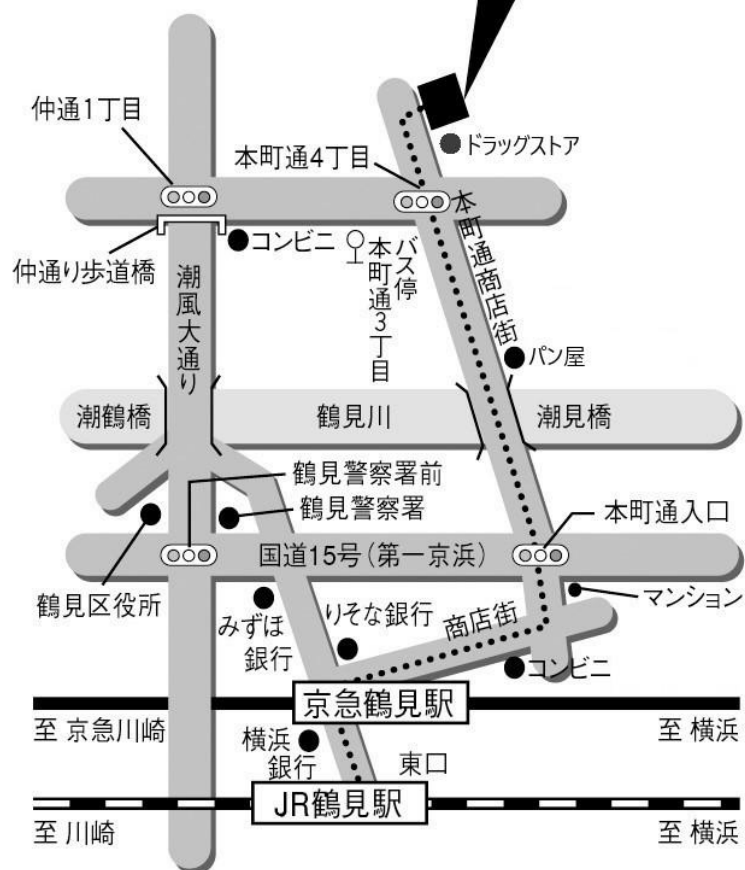
2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
242,444 名	231,146 名	279,274 名	336,708 名

出身国・地域別留学生数

国・地域	留学生数 ()内は 2023 年度	構成比 ()内は 2023 年度
1 中国	123,485 名(115,493 名)	36.6%(41.3%)
2 ネパール	64,816 名(37,878 名)	19.2%(13.5%)
3 ベトナム	40,323 名(36,339 名)	11.9%(13.0%)
4 ミャンマー	16,596 名(7,773 名)	4.9%(2.7%)
5 韓国	14,579 名(14,946 名)	4.3%(5.3%)

※出典：(独)日本学生支援機構による「外国人留学生在籍状況調査」より

横浜市国際学生会館



◆交通案内

- ・JR京浜東北線・京浜急行線「鶴見駅」より徒歩15分
- ・JR鶴見駅東口より市営バス15系統（4番乗り場）に乗車5分、本町通3丁目にて下車、徒歩1分

◆開館時間

火曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日、月曜日、祝日 9:00～17:00
休館日 毎月第4月曜日、年末年始

横浜市国際学生会館

〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4丁目171番地の23

Tel 045-507-0121 / Fax 045-507-2441

<https://yish-yoke.com>

2025年6月発行



学生会館のマスコット ラブアースベア